

がん感染症疾病対策課
直通：092-643-3597
内線：3064, 3065
担当：中山、古屋

腸チフスの入院事例について

令和7年1月7日、南筑後保健福祉環境事務所に、管内の医療機関から腸チフスの届出があり、患者が入院していることが判明しましたのでお知らせします。

1 患者

(1) 年齢等

10歳代、男性、柳川市在住

(2) 経過

- 12月 2日 発熱、倦怠感出現。その後数日で解熱するが、倦怠感は持続。
12月13日 再度発熱。
12月16日 発熱に加え、下痢も出現したため、A医療機関を受診。
12月23日 症状が持続したためA医療機関を再受診。
12月27日 症状が改善しないためA医療機関を再々受診し、B医療機関を紹介受診、入院。
1月 7日 検査の結果、腸チフスの感染が判明。
1月 8日 現在治療中であり、症状は改善傾向。

2 原因

調査中。

3 行政対応

南筑後保健福祉環境事務所が患者・家族に対し健康調査、疫学調査を実施し、二次感染予防の指導を行っている。

※ 腸チフス患者・無症状病原体保有者（保菌者）の届出状況

（北九州市・福岡市・久留米市を除く）

（令和7年1月8日現在）

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
R6	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	3
R7	1 [*]												1

※本件を含む

お 願 い

※ 報道機関各位におかれましては、患者及び患者家族等について、本人等が特定されないことがないよう、格段の御配慮をお願いします。

◆県民の皆様へ◆

腸チフスについて

チフス菌に汚染された水や食品などを摂取することによって感染します。

《症状》

- 感染して7～14日後に発熱を伴って発症します。
- 39℃を超える高熱が続き、全身のだるさや発疹、下痢などの症状が現れます。
- 重大な症状として、腸から出血したり、腸に穴が開いたりすることがあります。

《感染予防のポイント》

- 衛生状態の悪い国に多く、特に南アジアからの報告が多く見られます。
- 南アジア、東南アジア、アフリカ、カリブ海、中央及び南アメリカは感染の危険が高いため、この地域への旅行中は、生水、氷、生ものを避けましょう。カットフルーツを洗った水が汚染されていて感染した例もあります。
- 食事の前やトイレの後は、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。